



1 新しく開かれた時代を象徴するような、大型の正面玄関の扉 2 隣を流れる人首川と遊歩道 3 4階づくりの建物内。かつてここが病院であったことを示す資料が展示されており、無料で見学ができる（冬期間は閉館）。1階と2階には吹き抜けがあり開放的。4 4階から岩谷堂の街並みを望む。紅葉に染まる秋もまた美しい



奥州遺産

—ときを越え
受け継がれるもの—
第103回

旧岩谷堂共立病院

江刺南町

岩谷堂幼稚園の隣、人首川沿いの高い丘の上に建つ、赤い屋根の楼閣が旧岩谷堂共立病院だ。

明治7年、当時としては珍しい西洋式の病院として建築された。日本の伝統的な技法を使いながらも、幅の狭い縦長のガラス窓など、随所に洋風デザインが採用されている。

江戸で蘭方を学んだ医師を迎え、診療をしながら、地元の医師が西洋医学を学ぶ場でもあった。しかし、厳しい変革の時代は、わずか数年しか病院としての運営を許さなかった。廃院となった後は、改装され岩谷堂町役場などに利用されたが、昭和40年代には使われなくなり痛ましい姿に。しかし54年、県有形文化財の指定を機に復元工事を実施。明治の建築・文化を伝える建造物として生まれ変わった。

新しい時代に向けた江刺の人々の情熱が、今も旧岩谷堂共立病院に残る。

広告

◎広告の問い合わせは、(株)東広社 (☎ 0197 64 1523)